

第27回日本臨床リウマチ学会

徳洲会から5演題発表

看護師や薬剤師も活躍

第27回日本臨床リウマチ学会が11月23日から2日間、神戸市内で開催された。多職種が治療にかかわる関節リウマチ(RA)は看護師や薬剤師の関心も高く、多くの発表が見られた。徳洲会グループ職員が口演(口頭発表)した5題を紹介する。



会場には多職種が集まり、活発に議論した

鎌ヶ谷総合病院(千葉県)

望月猛部長

望月・整形外科部長は「関節リウマチにおけるアバタセプトによる関節破壊抑制効果」52週の検討」と題し発表した。アバタセプト(生物学的製剤)の効果を導入後52週以上継続した41例で検証したところ、構造的寛解(関節破壊の停止)率は68.3%であり、十分な抑制効果があった。また、破壊進行因子としてRA因子陰性、MTX(抗RA薬)非併用などを挙げ、寛解を得るためにはCRP(炎症反応)やDAS28-CRP(RA疾患活動性の指標)、MMP-3(関節・骨破壊度)などが低値であることが大切だと報告した。

千葉西総合病院

香取哲哉薬剤師

香取薬剤師は、「関節リウマチへの生物学的製剤治療における外来化学療法センターの役割と課題」をテーマに口演した。生物学的製剤を投与しているRA患者さん81例の満足度を調査したところ、施設の快適性より接遇を、接遇より相談を重視しており、医師以外の医療者にも質問・相談を希望していることがわかった。満足度向上には、わかりやすいパンフレットの作成や、困った時の相談先としてホットラインの確保など、安心感の提供が大切とまとめた。

鎌ヶ谷総合病院

齋藤るみ看護師

齋藤看護師は、「リウマチ看護外来の必要性の検討」と題し発表した。今年4月から開始したリウマチ看護外来の実施内容(病態や検査、薬剤に関する説明、精神的フォロー)を検討。受診した30人へのアンケートによると、疾患にかかわる質問や相談のほか、日常

が感染予防の必要性を認識しているものの、実践しているのは約半数であることが判明。感染症の危険性の教育や、実践しやすい予防法の指導の必要性を強調した。

福岡徳洲会病院

藤井健司医師

藤井医師は、「溶連菌感染症に関連したと考えられた関節炎の3例の成人例の検討」をテーマに口演した。3つの症例の経過をとおして、成人の溶連菌による関節炎は、急性リウマチ熱や溶連菌感染後関節炎、多関節の敗血症性関節炎など病像が多岐にわたるため、その分類に

鎌ヶ谷総合病院

倉持明美看護師

倉持看護師は、「関節リウマチ患者における感染予防の必要性」リウマチ看護外来を通して」と題し発表した。関節破壊進行抑制や身体機能改善が期待できる生物学的製剤は、副作用の免疫低下により感染症対策が不可欠なため、患者さんの感染予防に対する意識調査を実施した。調査では、9割以上の人

山下・湘南鎌倉総合病院

乳房形成術で講演

美容抗加齢医学学会会長も

第7回日本美容抗加齢医学会が11月25日、横浜シンポジウムで開催された。湘南鎌倉総合病院形成外科・美容外科の山下理絵部長が学会長を務めた。山下部長は「画像で捉える脂肪幹細胞注入によ

脳卒中で公開シンポ

湘南鎌倉総合病院が市民向け

湘南鎌倉総合病院(神奈川県)は12月8日、鎌倉芸術館で脳卒中市民公開シンポジウムを開催した。テーマは「地域の力で予防と治療」。同院の森貴久・脳卒中センター長が主催し、一般市民や医療関係者ら約200人が集まった。



脳卒中の正しい予防法と治療を丁寧に解説した森センター長

講師は、森センター長が取り組んでいる湘南脳卒中研究会のメンバーである近

詩人・谷川俊太郎が屋久島でライブ

特養「縄文の郷」15周年記念イベント

ただいのちであること——。詩人・谷川俊太郎さんと現代詩を歌うバンド「Di Va」はこのほど、屋久島で「ただいのちであること」をテーマに詩と音楽のライブを行った。

社会福祉法人愛心会の特別養護老人ホーム「縄文の郷」開設15周年イベントとして、同施設と屋久島徳洲会病院が主催。会場の離島開発総合センターには、立ち見が出るほど大勢の観客が詰めかけ、谷川ワールドにひたっていた。

ライブでは谷川さんの軽妙なトークの後、詩の朗読が行われ、その後、谷川さんの息子の賢作さんがピアノを担当するDi Vaが、谷川さんの詩を歌にした曲を披露した。

生命の尊さを表現した谷川さんの詩に、観客からはため息が漏れていた。

挨拶に立った縄文の郷の義山正浩施設長は、「皆様のおかげで当施設は15周年を迎えることができました。今後も質の高いサービスを努力していきます」と決意を新たにしていた。



生命の尊さを朗読する谷川俊太郎さん

は慎重な判断が必要だと訴えた。そして溶連菌感染後関節炎の鑑別には、①潜伏期10日以内、②関節炎が3週以上継続、③アスピリンへの反応が乏しいの3つの判定基準が有効であると報告した。



学会長を務めた山下部長

ランチョンセミナーで講演。乳がん手術を受けた患者さんに行う乳房再建術の脂肪幹細胞注入移植について解説した。同移植術は、脂肪定着率の高さや、形態形成の自由度が大きく、乳房が再建しやすいのがメリット。ヒアルロン酸注入の最新情報をテーマとする海外招待講演も行われた。フランス・パリ病院のバ

隣の病院医師、診療所医師が務めた。4部構成で、森センター長は第1部に登壇。「脳血管や頸動脈狭窄に対するカテーテル(脳血管内)治療」をテーマに講演した。

森センター長は、脳血管疾患のメカニズムや治療について、一般市民にもわかりやすく説明。とくに、脳卒中は脳そのものではなく、脳の血管の

疾患であること、心房細動や高血圧など内科的、慢性的な疾患が原因にもなり得ることを強調した。病院や診療所医師も回復のリハビリテーション治療や脳卒中の初期再発予防などをテーマに講演した。

ランナー大募集! 国内有数のリゾート地として、多くの観光客が訪れる奄美大島。この地を舞台に毎年開かれる「奄美観光 桜マラソン」が2013年も開催される。青い海はもちろん、コースによっては桜並木など、絶景が走りながら堪能できる。島外からの参加者も多く、昨年の参加者は1,588人上った。読者の皆さんも、春を先取りできる大会に参加してみませんか?

- 開催日: 2013年2月3日(日) ※雨天決行
- 時間: 午前9時半(開会式) ~ ※距離によってスタート時間は異なる
- 会場: 奄美市太陽が丘総合運動公園スタート
- 種目: ファミリーコース3.5km、5km、10km、花見コース15.5km、ハーフコース21.0975km
- 参加料: 幼児(3歳以上)・小学生1,000円、車いすの介助者・中高生1,500円、一般2,500円
- 申込締切: 2013年1月10日(木)
- 問い合わせ: 奄美観光 桜マラソン事務局(☎0997-52-6111)
- URL: <http://www.e-marathon.jp/amami/>

施設だより

日本医療マネジメント学会に参加

大和徳洲会病院 (神奈川県)

長崎県佐世保市で10月12日、13日にかけて開催された第14回日本医療マネジメント学会学術総会に参加しました。



学術総会には約4000人という

「手術看護における安全を重視した業務改善を試みて」ICTレシーブモジュールを用いて、多数の参加者があり、ポスター部門での発表でしたが、貴重な体験を受けることができました。オベラ看護師・金澤浩二

がんじゅー祭を開催

南部徳洲会病院 (沖縄県)

当院は11月11日、第11回がんじゅー祭を開催しました。がんじゅーとは沖縄の方言で健康・丈夫という意味です。舞台上では那覇市民吹奏楽団の演奏や龍獅団による龍の舞、じゃんけんゲームなど、お子さんからお年寄りまで楽しめる催し物が盛りだくさん。観客数は2000人を超えました。



最後に沖繩伝

百社会・ビジョン21(業者の会の協力によるバザー)や、グループ関連施設

うちで終了しました。病院祭を通して地域住民、患者様へ感謝の気持ちを還元できたことをとても嬉しく思います。総務課・松山優司